

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月16日(木)

事務事業		更生保護活動事業		担当課	人権政策課	担当係	人権政策係	管理番号	3019	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	一人ひとりの個性が尊重されるまちづくり		根拠法令 個別計画等	保護司法 深谷市更生保護活動事業補助金交付要綱				
	小項目	1	人権・個性が尊重される社会の実現							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		法務省が、犯罪防止や罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうと提唱する「社会を明るくする運動」を、街頭における啓発活動、講演会等を内容として実施する。また、深谷地区保護司会に対し、更生保護事業助成金として、補助金を交付するものである。								
目的 ※何のために		犯罪を犯した者や非行のある少年の改善更生を助け、犯罪予防の啓発に努め公共の福祉の充実に図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		市民・深谷地区保護司会								
手段 ※どのように		社会を明るくする運動深谷市推進委員会を設置し、犯罪予防等の啓発活動を行う。また、深谷地区保護司会が円滑に活動する為に、研修及び啓発活動等に係る費用について助成する。								
成果 ※何を求めるか		市民の更生保護に対する理解や、犯罪予防の意識が高まる。また、保護司においては、研修等により知識を深め、自己研鑽が高まる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他( 保護司 )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	更生保護活動事業	700,000
本事業の 主な業務		・社会を明るくする運動(啓発活動)							・	
		・深谷地区保護司会への補助金交付							・	
		・深谷地区保護司会事務							・	
		・更生保護機関等との連絡調整							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
	決算額	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
人件費	従事職員数(人)	0.45	0.60	0.45	0.45	0.45	0.45
	人件費相当試算※	3,500,550	4,669,200	3,537,450	3,661,200	3,492,862	3,659,107
総事業費試算		4,200,550	5,369,200	4,237,450	4,361,200	4,192,862	4,359,107

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標 1	実績値の算出式		円	0	700	700	700	700	700
				700	700	700	700	700	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 2	啓発活動実施回数		回	0	10	10	10	10	10
				10	10	10	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市内の街頭啓発活動・街頭啓発パレード						
	実績値の算出式								
活動指標 3	講演会開催回数		回	1	1	1	1	1	1
				1	1	1	0	1	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		令和2年度未実施 / 実数						
	実績値の算出式								
成果指標 1	講演会来場者数			0	150	150	150	150	150
				150	650	250	0	427	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
成果指標 2	更生した人たちへの差別や偏見を知っている人の割合		%	0	0	90	90	90	90
				0	0	91.8	0	89.4	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成31年度より指標設定。令和2年度未実施。 / 講演会来場者アンケート						
	実績値の算出式								
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	深谷市・深谷地区保護司会深谷支部・4地区（深谷・岡部・川本・花園）更生保護女性会により「社会を明るくする運動深谷市推進委員会」を設置したが、緊急事態宣言等の影響もあって多くの各種事業を中止した。一方で非接触型の啓発活動として例年協力を得ている店舗等に啓発用ポスターの掲示依頼を行ったり、万全な感染対策をして講演会を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	緊急事態宣言等の影響もあって社会を明るくする運動の多くの事業を中止したが、講演会においては、申込制を導入する等して、万全な感染症対策をして、実施したところ、目標値の3倍近い来場者があり、更生した人々への差別があることを多くの方に知ってもらうことができた。
			評価者 人権政策係長 後藤 隆児

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	講演会においては、市ホームページからの申込制を導入する等して、受付業務において効率的に実施することができた。
			評価者 人権政策係長 後藤 隆児

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	深谷地区保護司会及び各地区更生保護女性会とより連携を深め、効果的な啓発活動を実施できるよう必要な支援を行っていく。
達成状況及び その効果	深谷地区保護司会及び各地区更生保護女性会とより連携を深め、コロナ禍において非接触型の啓発活動として、講演会を実施し、目標値を上回る来場者があった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	更生保護活動事業	担当課	人権政策課	担当係	人権政策係	管理番号	3019
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>今年度については、社会を明るくする運動関連事業の多くが中止となってしまったが「社会を明るくする運動」は、法務省が提唱する運動であるため、今後も保護司会や更生保護女性会と連携を図り市民への啓発に努める。また、保護司は、法務大臣の委嘱を受けた非常勤の国家公務員で、公益性の高い活動を行っており、行政が支援すべき活動であることから、今後も引き続き支援していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	人権政策課長 坂倉 美由紀				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	深谷地区保護司会及び各地区更生保護女性会とより連携を深め、効果的な啓発活動を実施できるよう必要な支援を行っていく。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	今後は非接触型の啓発活動も視野に入れ、深谷地区保護司会をはじめとした関係団体とより効果的な啓発活動実施について調整する。

8. 評価指標グラフ

